

平成18年度 傾斜的研究費（特定）（全学分）（公募分）研究報告書
研究テーマ区分 [①都市形成に関わる研究]

研究課題名	多摩ニュータウン在宅高齢者1.3万人の介護度と生存を維持させる要因解明のための五年間追跡研究	
研究者または研究代表者名	所属部局名	職 位
星 旦二	都市環境学部	教授
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職 位
上野 淳	都市環境学部	教授
竹宮健司	都市環境学部	助教授

研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）

高齢者の健康維持のための追跡調査を都市部1.3万人、地域2.2万人を追跡してきた。三年間の転居者506人を除く12,560人を三年間追跡し914人の死亡を確認した。要介護率を性別、要介護度別にみると、要介護率は、男女ともに80歳以上から急増し、女性85歳以上では32%と男性よりも多いことが明らかになった。

要介護度別にその後の累積生存率をみると、男女ともに介護度が高いほど累積生存率が低下する傾向が明らかになった。要介護度別にみた累積生存率では、要支援群の累積生存率は、要介護度1の累積生存率と交差し、男性では、約1年後に、女性では、約二年後に交差した。要支援の累積生存は、要介護度1を除き、他の介護度との関連で統計上有意差(P<0.01)がみられた。要支援を除けば、要介護度が低い方が累積生存率が維持される傾向が明らかになった。要介護度5の三年後の累積生存は、男性は約六割、女性は五割ほど低下することが明らかになった。これまでの実績は、国内外学会と共に、論文として報告してきた。また、東京都教育庁との協働研究を継続し報告書と、学校への還元資料を作成した。多摩市との協働研究では、2007年9月に大規模調査を実施すべく、協議を繰り返し2007年九月に実施する基盤をつくってきた。

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]

著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
・山本千紗子、佐藤直美、星旦二	家族が行う認知症判断の確かさ.	日認知症学会,4(3) : 496-506.2006.	2006

・巴山玉蓮、星旦二：	C型慢性肝炎患者におけるインターフェロン療法 の中断に関連する 要因 と継続支援	山梨県立看護大学短期大 学部紀要,11(1):15- 24.2006.	2006
・艾 斌、星旦二：	中国の都市高齢者におけ る主観的健康感の構造に 関する研究	民族衛生,72(1):3- 14.2006.	2006
・星旦二	高齢者の健康づくりにお ける主観的健康感のすす め	生きがい研究,財団法人 長寿社会開発センター 12:46-72.2006.	2006
・高橋俊彦、三徳和子、星旦二	都市在宅高齢者の外出実 態とその規定要因間の関 連性.日本健康教育学会14 (1):2-15.2006.	日本健康教育学会14(1): 2-15.2006.	2006
・星旦二	代替・統合医療と新しい 健康.森林医学.	森林医学.朝倉書店. 東 京:239-252.2006.	2006
・星旦二	新しい健康づくりー他分 野との連携が不可欠①	日本歯科医師会雑誌59 (3):62-63.2006.	2006
・星旦二	新しい健康づくりー他分 野との連携が不可欠②.	日本歯科医師会雑誌59 (4):52-53.2006.	2006
・星旦二	都市の健康生活.	都市問題研究58(10):65- 83.2006.	2006
・ Sachiko Ooki Ta	Interactions of volunt	The Journal of the Ja	2006

nji Hoshi.	eer members and communi ty in community.	pan NPO Research Asso ciation.Vil.6,Nos1&2,25- 35.2006	
・山田あすか，上 野淳	保育所における園児の居 場所の反復性に関する研 究	日本建築学会計画系論文 集：No.602, .04.：pp35- 42	2006
・常陰有美，倉斗 綾子，新田佳代， 上野淳	中学校における生徒の場 所の想起と居場所の選択 に関する考察	日本建築学会計画系論文 集：No.604, .06.：pp31- 37	2006
・新田佳代，倉斗 綾子，上野淳：	学習集団の編成と展開か らみた中学校の建築計画 に関する研究日本建築学 会計画系論文集	No.605, 07.：pp39-45.	2006
・宗方淳，佐久間哲 哉，平手小太郎， 倉斗綾子，橋本都 子，上野淳	学校教室の天井高が音・ 光環境と生徒による環境 評価に及ぼす影響	日本建築学会環境系論文 集：No.605, 07.：pp127- 132.	2006
・橋本都子，倉斗綾 子，上野淳	学校教室と天井高につい ての生徒の印象評価と寸 法知覚に関する研究	日本建築学会計画系論文 集：No.606, 2006.08.：pp 41-47.	2006
・宗方淳，倉斗綾 子，佐藤将之，橋 本都子，丹沢広行， 山本聖一郎，上野 淳：	学校教室に対する児童生 徒の評価に関する検討 学齢と慣れが教室の天井 高に対する児童生徒の反 応に及ぼす影響（その1）	日本建築学会計画系論文 集：No.607, 2006.09.：pp 65-70.	2006

<p>・鄭ソイ, 山田あすか, 上野淳</p>	<p>自立高齢者の地域支援施設のあり方に関する考察ー多摩市いきがいデイサービスセンターの利用実態と利用者の特性</p>	<p>日本建築学会計画系論文集 : No.608,2006.10. : pp 35-42</p>	<p>2006</p>
<p>・山田あすか, 樋沼綾子, 上野淳</p>	<p>幼保一体型施設の現況に関する報告及び考察</p>	<p>日本建築学会技術報告集, No.24 : 2006.12. : pp 307-312</p>	<p>2006</p>
<p>・斉藤潔, 金子公亮, 上野淳</p>	<p>都内公立小中学校と地域公共施設との複合化事例における管理・運営の実態と管理者の意識について</p>	<p>日本建築学会技術報告集, No.24 : 2006.12. : pp 317-322</p>	<p>2006</p>
<p>・Soyi CHEONG, Asuka YAMADA, Masumi MATSUMOTO and Jun UENO :</p>	<p>A CONSIDERATION ON THE SOCIAL SUPPORT FACILITY FOR THE INDEPENDENT ELDERLY PEOPLE</p>	<p>Proceeding of the 7th International Symposium on Environment-behavior Research, Dalian, China : p p . 577-585, 2006.10</p>	<p>2006</p>
<p>・Ryoko KURAKAZU, Kuniko HASHIMOTO, Jun MUNAKATA, Jun UENO</p>	<p>N TAMA NEW TOWN The actual condition and the evaluation of Japanese school classrooms from the teachers' v</p>	<p>PROCEEDINGS OF THE 7th INTERNATIONAL SYMPOSIUM FOR ENVIRONMENT-BEHAVIOR STUDIES "HARMONY IN TRANSITION" ;pp67-75</p>	<p>2006</p>

<p>・宮田直明（アサ ツデー・ケイ）・ 竹宮健司</p>	<p>ユニバーサルデザイン建 築ガイドラインの策定及 び実践状況の自治体間比 較</p>	<p>日本建築学会計画系論 文集，No.612， pp. 7-14， 2007年2月</p>	<p>2006</p>
<p>・謝 秉銓，角田 誠，竹宮健司， 吉川 徹，倉斗綾 子</p>	<p>公共施設ストックの空間 再編のための機能諸室の 捉え方に関する調査—東 京都多摩市を対象として</p>	<p>日本建築学会技術報告 集 No.23, pp.305-308, 2006 年6月</p>	<p>2006 2006</p>
<p>・石澤三香子・小 林美智・竹宮健司</p>	<p>周産期医療ネットワーク の概況と周産期医療施設 の稼動実態 周産期医療</p>	<p>2006年， E-1分冊， p.89-90</p>	<p>2006</p>